

学習指導要領	都立千早高校 学カスタンダード
(1) ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。 イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。 ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。	[大河流域の生活と歴史] ・大河流域に形成された古代文明周辺の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [草原の生活と歴史] ・内陸アジア北部にひろがる大草原の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [オアシスの生活と歴史] ・内陸アジア南部などの砂漠に点在するオアシスの自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [森林の生活と歴史] ・熱帯林・温帯林・亜寒帯林など様々な森林と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 [日本と世界の人々との交流] ・日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などを通して、世界との関係や交流の事跡を知る。 [外来の道具や技術の伝播] ・外来の道具や栽培植物、技術、日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物などについて知る。 [日本に伝来した外来の宗教] ・仏教やキリスト教など外来の宗教を通して日本と世界のつながりを知る。 [東アジアの文明] ・漢字文化、儒教、中国を中心とした国際体制などいくつかの事例を通して、日本を含む東アジアに形成された文明の特質を知る。

	学習指導要領	都立千早高校 学カスタンダード
(2) 世界 の 一 体 化 と 日 本	イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。	[西アジアの文明] ・古代オリエントの遺産、イスラーム教などいくつかの事例を通して、西アジアに形成された文明の特質を知る。 [ヨーロッパの文明] ・古代ギリシア・ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。 [諸地域世界の交流] ・世界が一体化に向かう前提として、8 世紀以降のユーラシア地域間交流について知る。 [世界の一体化とヨーロッパ] ・ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動きや、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流について知る。 ・異文化との接触と、交易によるビジネスの発生と発展、世界の一体化を考察する。 [アジアの諸帝国] ・16 世紀から 18 世紀までのアジアの諸地域が、安定した支配と経済の繁栄を背景に黄金時代を迎えたことを知る。 [ヨーロッパの主権国家体制] ・ヨーロッパの主権国家体制の特質について知る。 [大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容] ・大西洋三角貿易の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容について知る。 [世界の一体化の動きと近世の日本] ・16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について知る。

学習指導要領	都立千早高校 学カスタンダード
ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。	[産業革命と資本主義の確立] ・産業革命と資本主義の確立について知る。 ・資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在り方が変化したことを知る。
エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。	[アメリカ合衆国の発展] ・アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧、南北戦争後の急速な工業化について知る。
ア 急変する人類社会 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。	[アジア諸国の変貌] ・18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の状況と、ヨーロッパ諸国の進出によって引き起こされた変化について知る。 ・18世紀後半から19世紀までのアジア諸帝国の動揺と、それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて知る。
イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。	[第二次産業革命] ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達や、企業の巨大化、国家の役割の増大、公教育の普及について知る。
	[国際的な移民の増加] ・19世紀後半から国際的な移民が増加したことを知る。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場により、社会が大衆化したことを知る。 [帝国主義] ・帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について知る。

学習指導要領	都立千早高校 学カスタンダード
ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。 エ 地球社会への歩みと課題 1970 年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。	[第一次世界大戦とロシア革命] ・ 第一次世界大戦が始まった原因と性格について知る。 ・ 大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを知る。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・ 国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について知る。 ・ アジア諸地域の民族運動が高揚したことを知る。 [世界恐慌とファシズムの台頭] ・ 世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを知る。 ・ 東アジアにおける日本の動向について知る。 [第二次世界大戦] ・ 第二次世界大戦について、戦争の被害の甚大さや戦争の複合的な性格について知る。 [冷戦のはじまり] ・ 米ソ両陣営の対立による冷戦の構図について知る。 [1960 年代の世界] ・ 米ソ両国の指導力低下に伴う多極化について知る。 [冷戦の終結と社会主義体制の崩壊] ・ 冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る。 [地域統合の動き] ・ EU などの地域統合の進展について知る。 [地域紛争の頻発] ・ 世界各地で頻発している地域紛争の原因が多様であることを知る。

	学習指導要領	都立千早高校 学力スタンダード
(3) 地 球 社 会 と 日 本	オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。	・持続可能な社会の実現のためには、環境の保全、経済の開発、社会の発展をそれぞれの調和の下に進めていく必要があることを理解し、歴史的視野からそれらの問題に関する認識を深め、世界の人々が協調し、共存できる持続可能な社会の実現について展望する。

学習指導要領	都立千早高校 学力スタンダード
(2) 世界 の 一 体 化 と 日 本 イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。 ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。	[世界の一体化とヨーロッパ] ・ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動きや、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流について知る。 [アジアの諸帝国] ・16 世紀から 18 世紀までのアジアの諸地域が、安定した支配と経済の繁栄を背景に黄金時代を迎えたことを知る。 [ヨーロッパの主権国家体制] ・ヨーロッパの主権国家体制の特質について知る。 [大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容] ・大西洋三角貿易の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容について知る。 [世界の一体化の動きと近世の日本] ・16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について知る。 [産業革命と資本主義の確立] ・産業革命と資本主義の確立について知る。 ・資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在り方が変化したことを知る。 [アメリカ合衆国の発展] ・アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧、南北戦争後の急速な工業化について知る。

学習指導要領	都立千早高校 学力スタンダード
エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。 ア 急変する人類社会 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。 イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。	[アジア諸国の変貌] ・18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の状況と、ヨーロッパ諸国の進出によって引き起こされた変化について知る。 ・18世紀後半から19世紀までのアジア諸帝国の動揺と、それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて知る。 [第二次産業革命] ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達や、企業の巨大化、国家の役割の増大、公教育の普及について知る。 [国際的な移民の増加] ・19世紀後半から国際的な移民が増加したことを知る。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場により、社会が大衆化したことを知る。 [帝国主義] ・帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について知る。 [第一次世界大戦とロシア革命] ・第一次世界大戦が始まった原因と性格について知る。 ・大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを知る。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について知る。 ・アジア諸地域の民族運動が高揚したことを知る。

	学習指導要領	都立千早高校 学カスタンダード
(3) 地球 社会 と 日 本	ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。	[世界恐慌とファシズムの台頭] ・世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを知る。 ・東アジアにおける日本の動向について知る。 [第二次世界大戦] ・第二次世界大戦について、戦争の被害の甚大さや戦争の複合的な性格について知る。 [冷戦のはじまり] ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図について知る。 [1960 年代の世界] ・米ソ両国の指導力低下に伴う多極化について知る。
	エ 地球社会への歩みと課題 1970 年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。	[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊] ・冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る。 [地域統合の動き] ・EU などの地域統合の進展について知る。 [地域紛争の頻発] ・世界各地で頻発している地域紛争の原因が多様であることを知る。
	オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。	・持続可能な社会の実現のためには、環境の保全、経済の開発、社会の発展をそれぞれの調和の下に進めていく必要があることを理解し、歴史的視野からそれらの問題に関する認識を深め、世界の人々が協調し、共存できる持続可能な社会の実現について展望する。